

令和 7 年度 指定管理者導入施設 管理運営評価シート（標準例）

1 評価対象施設の概要

施設名称	生駒山麓公園					
所在地	奈良県生駒市俵口町2088					
指定管理者名	生駒山麓公園指定管理共同企業体	指定期間	開始日	令和	6 年	7 月 1 日
利用料金制適用区分	不適用		終了日	令和	10 年	3 月 31 日
選定方法	公募	評価実施年	指定期間	3 年9ヶ月のうち 2 年目		
設置目的	金剛生駒紀泉国定公園の緑豊かな自然環境の中で、市民の休息、鑑賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供される市内有数の公園で、ふれあいセンター、野外活動センター、フィールドアスレチック、テニスコート等を公園内に設置し、市民の福祉の増進と生活文化の向上に寄与することを目的としている。					
主な実施事業等	生駒山麓公園運営（指定管理＝公園部分、テニスコート。自主事業＝フィールドアスレチック、野外活動センター）、ふれあいセンター運営（指定管理＝温浴施設、研修室。自主事業＝売店。）、市民対象イベントの実施					

2 利用実績

利用区分等	単位	予定(計画・目標)	利用実績	対前年度比	増減の理由等
フィールドアスレチック	人	目標無	39439	151%	前年が9ヶ月の実績となるため
野外活動センター	人	目標無	17610	120%	
ふれあいセンター研修室	人	目標無	10066	92%	利用実績の算出方法が変更となったため 前年が9ヶ月の実績となるため
ふれあいセンター浴場	人	目標無	63690	134%	
テニスコート	人	目標無	22181	141%	

3 事業収支

単位：千円

		事業計画	事業報告（実績）	（参考）前年度実績
収入計 A		217,025	274,922	183,577
	指定管理料	175,025	181,604	131,269
	利用料金収入 C	0	29,273	21,071
	自主事業収入	42,000	64,045	31,237
	その他	0	0	0
支出計 B		216,987	246,938	164,669
	指定事業費	175,025	181,604	131,269
	うち人件費 D	46,304	46,304	34,728
	うち再委託料 E	42,876	42,876	39,355
	自主事業費	41,962	65,334	33,400
事業収支 A-B		38	27,984	18,908
利用料金比率 C/A		0.0%	10.6%	11.5%
人件費比率 D/B		21.3%	18.8%	21.1%
再委託費比率 E/B		19.8%	17.4%	23.9%
補足説明（必要に応じて記入）				

※人件費(D)及び再委託料(E)は主な支出内訳のため、DとEの合計額が指定事業費にはなりません。

4 利用者の意見把握状況

利用者の意見把握の実施の有無		有	実施方法	利用者アンケート・意見箱の設置・その他（ ）
実施結果	意見内容等			対応実績等
	テニスコートの利用者より、「最寄りの駐車場にテニスコート利用以外の車が駐車するため利用しづらい。何とかしてほしい」とのご意見が寄せられた。			テニスコート最寄り駐車場において、テニス利用目的以外の駐車を抑制するため、赤コーン（カラーコーン）を配置・区画整理を行い、テニスコート利用者が円滑に駐車できる環境を整備・維持した。
	キャンプ予約サイト「なっぷ」を通じた予約時・利用後のアンケートや園内アンケート等において、「施設の衛生面（トイレ・温浴施設・BBQ場等）」や「スタッフの接遇」に関するご意見が寄せられた。			巡回清掃の頻度向上と清掃チェック体制を強化し衛生管理を徹底した。また、スタッフ研修を定期開催し接遇向上を図った。
	このほか、ここには書ききれない多数の貴重なご意見・ご要望（施設設備や各種サービス等）を頂戴した。			頂戴したその他多数のご意見・要望についても、市役所（所管課）と連携しながら適宜必要な改善対応を随時行った。

5 管理運営状況評価

施設の設置目的の達成（有効性）	
	施設の目的や特性等に合致した管理運営（事業計画に則った管理運営、施設の有効活用による設置目的の達成等）
	指定管理者による自己評価 生駒山の豊かな自然景観を生かした野外活動センターや日帰りBBQ、大型アスレチック施設をはじめ、温浴施設・研修室を備えた「ふれあいセンター」および「山麓レストラン」まで、複合的な公園機能を一体的かつ多角的に運用した。新アスレチックエリア「TAKEMARU」の導入・活用など体験型コンテンツの拡充を図り、幅広い世代の憩いとアクティビティの拠点として、市民の健康増進・福祉向上という設置目的を高い水準で達成した。 市の評価 事業計画書に基づき、適切な管理運営が行われました。既存施設の魅力向上の他、公園の特性に合った遊戯施設の設置など、魅力向上に資する取組も積極的に行っていました。
	市民の平等な利用の確保（平等な利用への配慮、公平で適切な利用者の決定等）
	指定管理者による自己評価 すべての市民が公平かつ等しく施設の特典やサービスを享受できるよう、公明正大な管理運営を徹底した。特に生駒市民向けの利用料金減免制度については、WEBサイトや園内掲示、広報誌等を通じて積極的な周知・案内に努めた。また、市民限定の「市民パスカード」の発行・運用をスムーズに行うとともに、市民利用時における駐車場料金の無料化（減免）処理を窓口にて迅速かつ確実に行うなど、市民福祉の還元と利便性向上を重視した運用の定着を図った。さらに、ユニバーサルデザインへの配慮や車椅子利用者・高齢者・幼児連れファミリーへのサポート体制も整え、誰もが安心して利用できる環境を確保した。 市の評価 複雑な運用ルール等がある中、利用者にわかりやすく伝えるよう案内を工夫するなど、市民に寄り添った運営が行われていす。引き続き、市民ニーズ等をヒアリングし、市民にとって魅力ある施設となるよう努めてください。
	利用者の満足度（利用者の意見把握結果による満足度の状況、意見等に対する取組状況、苦情等に対する対応等）
	指定管理者による自己評価 園内窓口や紙面での調査に加え、キャンプ予約サイト「なっぷ」を通じた予約時の簡易アンケートおよび利用後の任意アンケートを実施した。オンラインでの収集により、より広範かつリアルな利用者の声をタイムリーに把握・分析した。把握した課題や改善要望については、定期的な打ち合わせ等を通じて市役所（所管課）と迅速に情報共有・連携を図り、施設修繕や運用方法の見直しを協働で推進した。これにより、園内環境の即時改善やサービス向上に繋げ、高い満足度とリピート率の維持・向上に努めた。 市の評価 利用者からの意見を適切に報告し、改善に向けて対応してくださっています。アンケートについては今後も継続し、回答数を増やしてより魅力向上につながる意見収集に努めてください。
	経費の縮減等の効果（効率性）
	経費の縮減等（経費縮減の具体的な取組、効果等） 指定管理者による自己評価 電気代削減に向け、各種機器のタイマー運転を徹底・活用したほか、24時間稼働していた給排気ファン等の設備について安全・衛生面を考慮した上で適宜停止運用を行うなど、細やかなエネルギー管理と経費削減を推進した。広大な園内施設および設備の定期的な予防保全点検を実施し、突発的な故障に伴う突発的修繕リスクや費用の抑制を図った。また、園内街灯のLED化、空調機器の適切な運転管理による光熱水費の削減など、省エネルギー行動と業務効率化を徹底し、指定事業費の適正かつ効率的な執行に努めた。 さらに、キャンプ予約サイト「なっぷ」の導入により予約業務に伴う手間の解消と受付事務の著しい効率化を図るとともに、従来スタッフが時間を取られていた「事前下見」等の対応について事前予約制を導入し、Web予約フォームを設置・自動化することで業務負担を大幅に削減した。これらプロセスの自動化・効率化に伴い受付スタッフの適切な人員配置を見直した。なお、事業者選定や物品調達、修繕の発注にあたっては相見積もり等の取得を徹底し、コスト縮減に努めた。 市の評価 人件費等各種経費が増大する中、経費縮減に努め、限られた財源の中での運営に努めてくださっています。今後も物価の高騰なども考えられるため、引き続き経費縮減に努めてください。

	収入の増加（収入増加の具体的な取組、効果等）
	指定管理者による自己評価 新アスレチック「TAKEMARU」をはじめとする目玉コンテンツの導入に伴い、公式SNS（Instagram等）での情報発信を戦略的に強化した結果、SNSフォロワー数が大幅に増加した。これによりイベント情報の周知力・認知度が向上し、各種体験型プログラムや施設全体の予約数・集客数も上昇傾向を示している。効果的なデジタル広報と話題性のある施設運営により、自主事業収入およびレストラン・売店等の附帯事業収入の継続的な増加・確保を達成した。
	市の評価 自主事業の新規提案など、公園の魅力向上に努めてくださっています。指定管理エリアについても、指定管理者の自費での環境整備など、公園全体の収入増加に向けた取組を進めています。引き続き、お願いいたします。
適正な施設の管理運営（適正性）	
	施設の管理運営の状況（適正な人員配置、従業員の能力・資質向上、広報活動、環境行動の取組状況、地域との連携等）
	指定管理者による自己評価 スタッフのマルチタスク化を推進し、アスレチックスタッフと野外活動センタースタッフが相互に業務を兼任できる柔軟なシフト・運営体制を構築した。これにより業務の効率化と繁忙期・急な人員需要への迅速な相互カバーを実現した。また、定期的な研修・他施設への出張等により全従業員の能力・資質向上を図った。広報面では特にInstagramに注力し、魅力的でリアルタイムな情報発信を継続したことで順調にフォロワー数を伸ばし、認知拡大と集客強化につなげた。環境行動として、園内での省エネルギー運用に加え、地域の環境保全活動にも積極的に参加・貢献した。地域連携の取組として、地域のお祭りに「生駒山麓公園」の名で出店した。地域住民や自治会の方々との対話や交流を深め、公園の取組を直接伝えるとともに良好な関係性とコミュニケーションの構築を図った。
	市の評価 指定管理エリアや自主事業エリアなど、エリアの垣根を超えた公園全体としての運営に尽力してくださっています。また、地域との交流も積極的に行っており、生駒山麓公園のイメージアップの一翼を担ってくださっています。
	自主事業の取組（施設の有効活用による市民サービスの向上への効果等）
	指定管理者による自己評価 イベント事業の運用にあたっては、広報いこま「いこまち」にて第一弾として情報を掲載・先行予約受付を行うことで、生駒市民が優先的かつ気軽に参加できる仕組みを整えた。同時に、戦略的に強化した公式Instagramのフォロワー伸長に伴う拡散力を掛け合わせることで、イベント周知力・予約数ともに大きな上昇傾向を創出した。
	市の評価 広報「いこまち」を使ったイベントの告知を積極的に行うことで、市民の来園につながっています。イベントリピーターも多く、魅力あるコンテンツ作り大変感謝しています。引き続き、また来たいと思えるコンテンツ作りをお願いします。
	安全管理、危機管理体制等（個人情報保護、事故発生時の対応、危機管理体制等）
	指定管理者による自己評価 事件・事故や自然災害（台風・大雨・崖崩れ等）の発生に備え、共同企業体（ザイマックス関西・アドバンス）と各再委託先および関連施設・団体（青葉仁会等）との間で迅速な緊急連絡・情報共有体制を確立・運用した。特に台風や荒天などの自然災害発生時に園内利用や施設利用に制限が生じる場合は、利用者の不利益や混乱を避けるため、公式SNS（Instagram等）やホームページへ即時反映・発信を行い、タイムリーな危険防止・利用案内を徹底した。あわせて日常的な遊具・フィールドの安全点検、防犯・防災訓練の実施、ならびに個人情報保護の徹底を図り、安全・安心な施設管理に万全を期した。
	市の評価 近年、急な悪天候に起因する災害が多く発生しています。園内でも強風による倒木など、危険な災害があった場合、速やかな連絡を行うようお願いしています。今後も園内パトロールの継続など、災害を未然に防ぐ取組、起きてしまった際の迅速な対応をお願いします。
サービスの安定的な提供（安定性）	
	事業収支（自主事業を含む）の状況（事業収支の妥当性、安定的な事業継続等）
	指定管理者による自己評価 予約サイト「なっぷ」や下見専用予約フォームの導入による業務自動化、スタッフのマルチタスク化（アスレチックと野外活動センターの兼任等）による労務管理の最適化、タイマー運転や給排気ファンの適宜停止といった細やかな光熱費削減策、相見積もりの徹底取得など、包括的な経費抑制・業務効率化を徹底した。一方で、新アスレチックの導入やInstagram・広報誌を活用した集客施策により自主事業収入およびレストラン・売店等の附帯事業収入の順調な伸長を達成した。指定管理事業費と自主事業を合わせた総合的な収支管理が計画通り適切機能しており、健全かつ安定した事業継続性と財務基盤を確立している。
	市の評価 世界情勢の不安から経費の見通しが難しい中、業務の効率化に向けた創意工夫を図り、適切に運営してくれています。短い指定管理期間ではあるものの、中長期的な視点での公園運営に努めてください。

6 指定管理者の財務の状況

単位：千円

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
資産	5,146,970	12,954,323	13,054,903
流動資産	921,090	8,565,009	8,272,894
固定資産	4,225,880	4,389,314	4,782,008
負債	398,957	11,627,020	11,531,981
流動負債	398,957	6,045,101	5,376,124
固定負債	0	5,581,919	6,155,858
純資産	4,748,013	1,336,548	1,529,312
資本金	4,748,013	103,000	103,000
売上高	1,971,333	25,291,509	24,293,688
経常利益	240,923	708,264	315,442

7 指定管理者の経営状況（財務・資産関係指標）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
自己資本比率 純資産/資産×100	92.2%	10.3%	11.7%
負債比率 (流動負債＋固定負債)/純資産×100	8.4%	869.9%	754.1%
固定比率 固定資産/純資産×100	89.0%	328.4%	312.7%
流動比率 流動資産/流動負債×100	230.9%	141.7%	153.9%
固定長期適合率 固定資産/(純資産＋固定負債)×100	89.0%	63.4%	62.2%
総資産回転率 売上高/資産×100	38.3%	195.2%	186.1%
総資産経常利益率 経常利益/資産×100	4.7%	5.5%	2.4%

8 総合評価等（今後の業務改善に向けた考え方）

指定管理者による自己評価
当年度は、共同企業体および協力団体等の連携を強固に保ちつつ、市役所と密に情報を共有・連携しながら、公共施設としての安全確保・快適な環境維持に努めた。現場運営においては従業員のマルチタスク化（アスレチックと野外活動センターの業務兼任等）やDX化（予約フォーム・アンケートの自動化）、細やかな光熱費削減等を進め、効率的で無駄のないコスト・労務管理を徹底した。 事業収支面においては、新アスレチック「TAKEMARU」の導入効果や、Instagram等の発信強化によるフォロワー増・予約増、広報いこま「いこまち」での先行予約活用等により、自主事業および附帯事業（レストラン・売店等）の収支が非常に好調に推移した。この自主事業での大幅な収支改善によって、事業全体として健全で安定した財務・経営バランスを確保することができた。 さらに、地域のお祭りへの出店や環境保全活動への参加など、地域社会との対話や環境配慮にも注力し、総合的に計画に沿った良好かつ健全な管理運営を達成することができた。
市の評価
1年間を通しての運営は初めてであった中、適切に管理運営に努めてくださっていました。定期点検の実施や適切な修繕対応などの施設の維持管理だけでなく、イベントの実施や新たな公園施設の導入など、魅力向上に資する取組については、素晴らしいものでした。来園者からの意見にもしっかりと耳を傾け、迅速に対応をしている報告も受けているので、引き続き継続するよう努めてください。 広報については、各種SNSなどを活用した取組の効果が大きく、メディアへの掲載が増えたように感じます。近年は、広報媒体の多様化も進んでいるので、積極的な発信をお願いします。また、環境に配慮した公園運営は、今の生駒の自然を守る上で大切なことです。自然環境学習や森林の手入れ、ごみの適切な分別など環境に配慮した施設運営に努めて下さい。